

2013. 10. 21

## 「森づくり WG」の議論を始めるにあたって（メモ）

担当 蔵治光一郎

1. 「森づくりガイドライン」の中身を議論しはじめる前に、まずは流域圏の「森づくり」の実態をリストアップし、「矢作川流域の森づくり」と題する資料を作成したい。川部会、海部会、流域圏の住民が一目見て、矢作川流域圏の森の全体像が理解できる資料。

## 「矢作川流域の森づくり」の目次案

- ① 現況図（地形図、植生図など）  
※ごくおおざっぱなもの（例：1km メッシュ）
- ② 地区別「岡崎、豊田、恵那、根羽、平谷」の森林の基礎データ  
※新城、設楽、幸田、西尾などはどう扱うか  
森林面積、人工林面積、天然林等面積  
過去 5 年間の、間伐の実績、補助事業の種類別の実績、木材搬出量の実績  
行政が長期計画の目標としている森林型と、その面積
- ③ 各地区でアピールしたい特色のある「流域圏の森づくり」の事例（複数可）
- ④ 市境・県境を超えた連携による森づくりの事例  
明治用水の水源林  
安城市と根羽村の連携  
アイシンと根羽村の連携  
矢作川水源基金の仕組みの紹介 など

2. 森づくり WG は平日の開催とし、会場は 4 地区持ち回りとする。

3. 次回森づくり WG の日程（12 月を想定）、会場（予定では恵那市）の決定

会場となる地区には、「矢作川の森づくり」に掲載する情報を発表していただく（県、市、森林組合、森林所有者、森林ボランティア等、それぞれ持ち寄る）。

訪問した行政組織のリスト

9月5日	愛知県豊田加茂農林事務所林務課	(西原・蔵治)
9月11日	愛知県農林水産部 農林基盤担当局林務課	(西原・蔵治)
9月11日	愛知県西三河農林事務所林務課	(西原・蔵治)
9月11日	矢作川水源基金	(西原・蔵治)
10月2日	林野庁中部森林管理局名古屋事務所	(西原・蔵治)
10月4日	岐阜県林政部森林整備課	(西原・蔵治)
10月10日	愛知県環境部水地盤環境課	(西原・蔵治)
10月15日	長野県林務部森林政策課	(西原・今村・蔵治)
10月30日	林野庁中部森林管理局計画課	(西原・蔵治)
11月6日	恵那市経済部林業振興課	(西原・洲崎・蔵治)
11月6日	岐阜県恵那農林事務所林業課	(西原・洲崎・今村・蔵治)
11月7日	長野県下伊那地方事務所林務課	(西原・洲崎・今村・蔵治)

今後の日程 (案)

●12月11日(水) 第15回WG(恵那・平日) 会場：上矢作地区(要決定)

●1月(候補日：16日(木)、27日(月)、30日(木))

山の地域部会

プログラム(案)

午前9時半 めかた会館前駐車場、または本宿駅に10時に集合

事務局でマイクロバスを出していただく

第二早蕨幼稚園の見学(連絡済み)

昼食

千万町長坂の上の150年生の人工林の見学(積雪の状況により中止もありうる)

午後2時半 めかた会館に戻り、地域部会(会議室仮予約済み)

午後5時 終了、解散

●2月 全体会議

## 矢作川流域圏懇談会 第1回勉強会

蔵治 光一郎

東京大学大学院農学生命科学研究科  
准教授（愛知演習林長）

1

## 矢作川流域市の森林計画

- 岡崎市
  - 森林整備ビジョン(案) 2011年3月予定
- 豊田市
  - 100年の森づくり構想・森づくり条例 2007年3月
  - 森づくり基本計画 2007年10月
  - 豊田市森づくり白書(H20年度版) 2009年12月
- 恵那市
  - えなの森林づくり基本計画 2008年3月
  - えなの森林づくり実施計画 2008年3月
- いずれも先進的な取り組み

4

## 矢作川流域圏の難しさ 難しさ転じてエネルギーとなる

- 3県にまたがっている
- どの県にとっても、中心的な地域ではない
- 岡崎市・豊田市の2大市
  - 歴史・文化が異なる
  - 水源の森が別々(岡崎は乙川、男川)
- 流域の境界と市町村の境界が合っていない
  - 旧作手村、旧設楽町、旧津具村、旧豊田市、恵那市、安城市、幸田町

2

## 望ましい森林の姿

- 岡崎市
  - ①めぐみ(地域産木材・林産物を育てる)②うるおい(防災、水、生物)③やすらぎ(市民の憩い、学び、活動の場)
- 豊田市
  - ①公益的機能の発揮②木材の循環利用③地域づくりと一体の森づくり④人材育成と共働(市民や企業との連携)
- 恵那市
  - ①多面的機能の効果的発揮②安定した林業・木材産業確保③市民とのかかわり

5



3

## 矢作川流域市の森林計画の目標年

- 岡崎市
  - 短期10年(2020)、中期30年(2040)、長期100年(2110)
- 豊田市
  - 短期10年(2017)、中期20年(2027)、長期100年(2108)
- 恵那市
  - 6年(2015)

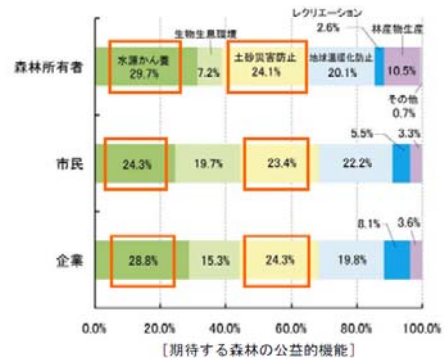
6

### 矢作川流域市の長期目標

- 岡崎市
  - 人工林率を60%から40%に。1/3は天然林化
- 豊田市
  - 人工林率を50%から25~35%に。半分~3割を天然林化
- 両市をあわせて、100年間に人工林を3~4割減らす計画
- 恵那市
  - 明示されていない

7

### 期待する森林の公益的機能 岡崎市森林ビジョン(案)より



10

### 矢作川流域市の中短期目標

- 岡崎市
  - 2040年までの30年間に、放置人工林5,000haをゼロに、総間伐実施量12,500haに
- 豊田市
  - 2027年までの20年間に、過密人工林55,000haをゼロに
- 恵那市
  - 2015年までの6年間に、過密人工林6,900haを間伐

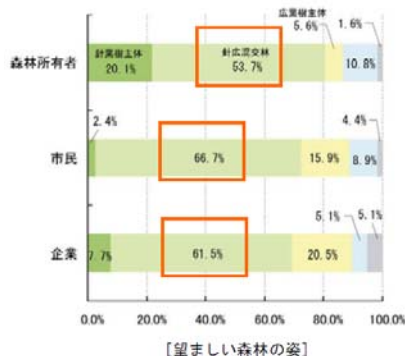
8

### 論点

- 計画はこれでいいのか？
  - 山村住民よりも都市住民を向いた計画？
- 計画は絵に描いた餅になるのでは？
  - 権限を持っているのは森林所有者
  - 所有者が納得しなければ何もできない
- 所有者だが都市に住んでいる人には何が期待されているか？
- 所有者でない都市住民にできることは何か？

11

### 望ましい森林の姿 岡崎市森林ビジョン(案)より



9